

元気企業  
訪問

株式会社  
樽正本店



## 丹波産野生梨使い 伝統製法のジャムを製造 助成金の活用で 生産、販路開拓後押し

### 野生梨ゆへの香りに着目

同社はもともと漬物の製造を主体にしていたのですが、昭和50年代からジャムの製造も始めました。原材料として使うのは果物と砂糖、ジャムによってはレモンを加えるだけ。果物自体に含まれるペクチンだけで固め、多くのジャムで使われる人工のペクチンや食品添加物は一切加えません。それだけに果物は全て安心して使える国産から選んでいます。そのこだわりが高く評価されて高級食品スーパーを中心に扱いが増え、現在では売り上げのうち果物加工食品類が約6割を占めるまでになっています。

前社長で現顧問の石川徹さんが神戸大学大学院農学研究科准教授

の片山寛則さんと知り合ったのは5年前のこと。片山さんは梨一筋の研究者で、野生梨を加工食品として開発する研究に取り組む中で、同社の技術力に目を付け、相談にきました。

同社にとっても野生種の取り組みは興味深かったそうです。「日本の梨の多くは、甘くてみずみずしい品種に改良されてしまい、酸味やペクチンを必要とする加工用に適さないものになってしまいました。その点、野生梨には強い香りや酸味、ペクチンが残っているのです」と石川さんは話します。

### 安定供給目指し営農組合に生産を依頼

神戸大学の支援を受け、30種近い野生梨の中から加工用に適したしっか

りした香りを持つイワテヤマナシを使うことにしました。岩手県の北上山系の中でもごく限られた場所にしか分布しておらず、絶滅危惧種に指定されている種です。

ジャム類の生産にはイワテヤマ

ナシの安定供給が欠かせないため、神戸大学と交流のあった篠山市真南条上営農組合の放棄農地を使った生産を依頼。加西市にある神戸大学大学院農学科専用農場で栽培されていたイワテヤマナシから接木をして、今では50本を栽培しています。

現在、試作を繰り返している商品はジャムとシロップ。ジャムは果肉に砂糖を混ぜて銅鍋でじっくり煮詰めていくだけのシンプルな伝統製法です。また、シロップは果物をボイルした後に濾過して出てくる滴をため、その滴に砂糖を混ぜて作ります。「シンプルな伝統製法で作るため、原料の質が決め手になります」と、神戸大学が営農組合に指導しながらの生産が続いています。

### 戦略商品に向け、手応え

ひょうご産業活性化センターから平成23年度「農商工連携ファンド」による助成金が得られることになりました。生産面では農園の防風・イノシシ対策、またPR面では展示会への出展費用などに充てました。「順調に試作が進み、展示会でも高級食品スーパーの担当者から早く商品化してほしいという声が相次いでいます」と石川さん。

試作が済んだジャムやシロップに加



篠山市真南条上営農組合の放棄農地で栽培されるイワテヤマナシ

え、果汁を砂糖だけで固めるゼリー、シロップにハーブやリキュールを加えて作るイギリスの伝統的飲料のコーディアルなども商品化の予定です。

希少な野生種の保存にもつながる今回の取り組みは、大きな社会的意義を持ちます。「イワテヤマナシを使った加工商品を当社の戦略商品として

位置付け、多くの人に知ってもらい、他の商品の認知につながればいいですね」と来年からの商品化に期待を寄せています。

会社概要  
株式会社樽正本店

所在地 神戸市灘区琵琶町3-2-1  
代表取締役社長 石川寛  
事業内容 漬物、佃煮、果物の加工商品の製造・販売

TEL 078-802-8089  
URL <http://www.tarumasahonten.com/>

## 支援メニュー講座

ひょうご農商工連携ファンド事業助成金

# 中小企業者と農林漁業者が連携した、 新商品、新サービスの開発を応援します。

### 制度概要

県内の農林水産物などの地域資源を活かした、中小企業者と農林漁業者等の連携による新商品・新サービスの開発の取り組みについて支援を行っています。

この助成事業により、魅力ある農林漁業ビジネスや市場ニーズに適応した新商品の開発を実現し、事業者の収益拡大に貢献するとともに、地域経済の振興を図ります。

### メリット

- 商品開発に対して、500万円を限度とした助成金の交付が受けられます。  
(対象経費：原材料費、加工費、機械装置費、デザイン料等。ただし、助成率は、対象経費の3分の2以内)
- 中小企業者と農林漁業者が連携することで互いの強みを活かした商品開発が可能となり、新たなビジネスチャンスが広がります。
- 助成期間を最大2年間設けていますので、開発計画に合わせて事業期間を自由に設定できます。
- 助成事業については、兵庫県とひょうご産業活性化センターが共同してPRを行います。

問い合わせは ひょうご産業活性化センター経営強化部新事業課 TEL078-230-8110

言葉を伝える  
私に伝えた  
誰かのように

あなたの本を  
書いて  
みませんか？

小説、自伝、詩集などあなたがお書きになった原稿をご予算に応じた自費出版プランでご提案いたします。また、各企業の記念誌等の企画・プロデュースもいたしております。どうぞお気軽にご相談ください。

株式会社 神戸新聞総合印刷  
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7

印刷物の企画プロデュースから編集・印刷まで、ニーズに合わせてトータルに手がけます。  
☎078-362-7180  
<http://www.kobenp-printing.co.jp/>

企画・デザイン・編集・制作・新聞印刷・商業印刷  
出版印刷・新聞広告・雑誌広告・SP・イベント・IT事業

ISO14001  
当社の印刷センターはISO14001の  
認証を取得しています。  
新聞印刷及び各種商業印刷

